



WordPressの ローカル環境を 構築する方法

KINSTA



ウェブサイトやビジネスの成長を後押しするその他の電子書籍については、
上のQRコードをスキャンするか、以下のページをご覧ください。

<https://kinsta.com/jp/ebooks/>

発行 **KINSTA**

WordPressの ローカル環境を 構築する方法

目次

第一章

DevKinstaを使ってMac/Windows/Linuxのローカル環境にWordPressをインストールする方法	7
DevKinstaのダウンロードとインストール	8
DevKinstaを使ってローカルWordPressサイトを作る	9
WordPressサイト新規作成	11
Kinstaからのインポート	11
カスタムサイト	12
DevKinstaのサイト情報画面	13
DevKinstaで複数のサイトを管理	15
サイトをMyKinstaに反映	17
Adminerでデータベースを管理	19
WordPressからの送信メールの検査	24

第二章

DesktopServerを使ってMac/Windowsのローカル環境にWordPressをインストールする方法	28
DesktopServerをパソコンにダウンロードする	29
DesktopServerインストーラの起動	30
プラグインの有効化とApacheおよびMySQLサービスの開始	32
新規サイトの開発	33
WordPressサイトのインストールと設定	35
DesktopServerを使ったWordPressのローカル環境インストールに関連するヒント	37

第三章

WAMPを使ってWindowsのローカル環境にWordPressをインストール	
する方法	40
WAMPをパソコンにダウンロード&インストールする	40
Wampserver.exeファイルを実行してインストールを開始する	41
新しいMySQLデータベースの作成	42
WordPressのインストールとファイルの解凍	44
ウェブブラウザでローカルWordPressサイトを見る	45

第四章

MAMPを使ってMacのローカル環境にWordPressをインストールする方法	47
MAMPをパソコンにダウンロード&インストールする	47
MAMPの利用開始とサーバーの立ち上げ	48
データベースの作成とユーザー情報の更新	50
WordPressをインストールして、ローカルホストからサイトにアクセスする	52

第五章

XAMPPを使ってMac、Windows、Linuxのローカル環境にWordPressをインストールする方法	54
XAMPPをパソコンにダウンロード&インストールする	54
インストールしたいコンポーネントの選択	55
XAMPPコントロールパネルを起動してサーバーをテストする	56
WordPressのダウンロードとデータベースの作成	57
ブラウザでサイトにアクセスしてWordPressをローカルにインストールする	58
さいごに	59

ローカル環境での開発は、ホスティングリソースを使用しません。安全な環境にて、オフラインでのビルドとデバッグを行うことができます。

ローカル環境での開発が便利な理由はいくつもあります。新機能のテスト、開発プロジェクトの実験、本稼働前のWordPressサイトの構築など、WordPressのローカルインストールがその一助となるでしょう。旅先でWi-Fiにアクセスできない場合でも、これを利用して作業を続けることができます。また、ファイルを操作する際にも、こちらの方が速い場合があります。

ほんのわずかな手順でWordPressのローカル環境を構築することができます。

そのためには、お使いのマシンにローカルAMPスタックをセットアップする必要があります。WordPressにおいて、AMPはApache、MySQL、PHPの略です。[マネージドWordPressホスト](#)がウェブサーバー上で実行するものを模倣するためにこれらのソフトウェアが必要です。

この電子書籍では、DevKinsta、DesktopServer、XAMPP、WAMP、MAMPを使って、Windows、Mac、LinuxのWordPressローカル環境を構築する方法をご紹介します。

DevKinstaを使って Mac/Windows/Linux のローカル環境に WordPressをインスト ールする方法

DevKinstaは、Kinsta独自のWordPressローカル開発スイート(ツール)です。DevKinstaを使って、ワンクリックでWordPressのローカルサイトを作成することができます。高度なデータベース、メール管理機能を搭載し、MyKinstaとの完全統合も実現しています。

Kinstaでホストするサイトをステージング環境に移行し、そこからローカル環境を作ることができます。

ローカル環境を簡単に作ることができるので、日々の作業が非常に楽になりました。プラグイン/テーマを確認したり、ドメインに延々と適用するのは、もう過去の話です。Kinstaをホスティングに利用していない場合でも、このツールをお勧めします。



Ben Townsend氏
LayerWP

DevKinstaは、Kinstaのお客様でなくても、完全無料でお使いいただけます。macOS、Windows、Ubuntu Linuxに対応し、現在、DevKinstaは1万人以上の開発者、ウェブデザイナー、フリーランサーに愛用されています。

主な機能をご紹介します。

- ワンクリックでWordPressサイトを作成でき、マルチサイトやWP-CLIにも対応
- Nginx、MySQL、および最新バージョンのPHPを搭載した近代的なスタック
- MyKinstaとの統合により、Kinstaでホストしているサイトをインポートしたり、変更をKinstaに反映したりできる
- Adminerによるデータベース管理
- 送信メールを検査するSMTPサーバー/メール捕捉ツール

DevKinstaのダウンロードとインストール

まず始めに、DevKinstaの最新バージョンをダウンロードしてください。このツールは10種類の言語に対応しており、すべての言語はフッターの言語オプションを切り替えることで確認できます。

- macOSにDevKinstaをインストール→.dmgファイルを開いて、DevKinstaアプリをApplicationsフォルダにドラッグします。Applicationsフォルダ内のDevKinstaをダブルクリックしてください。
- WindowsにDevKinstaをインストール→DevKinstaの実行ファイル(.exe)をダブルクリックして、インストールウィザードの手順に従ってください。
- UbuntuにDevKinstaをインストール→.debパッケージをダウンロードしてインストールします。コマンドラインでも、お好みのパッケージインストーラーでも可能です。

DevKinstaの初回起動に際し、[Docker Desktop](#)がディペンデンスー(依存関係のあるもの)としてインストールされます。DevKinstaでは、コンテナ化したWordPress環境の作成にDocker Desktopを使用しています。

DevKinstaのインストールプロセス中に、「Docker Desktop needs privileged access.(Docker Desktopには特権的アクセスが必要です)」というポップアップメッセージが表示されることがあります。そのメッセージが表示されたら、「OK」をクリックして、Docker Desktopが正しくインストールされるように、ユーザーアカウントのパスワードを入力してください。

インストールパスワードを入力すると、DevKinstaにより、いくつかのDockerイメージとともにDocker Desktopがインストールされます。インターネット接続の速度に応じてインストールに時間がかかる場合がありますので、しばらくパソコンから離れても構いません。

DevKinstaを使ってローカルWordPressサイトを作る

DevKinstaは、ローカルWordPressサイトを作成する3つの方法をサポートしています。

注)サイト作成プロセスでは、お使いのmacOSまたはWindowsのバージョンに応じて、ユーザーパスワードの提供または権限の確認が求められる場合があります。一部のOSでは、DevKinstaに、サイトのファイルをディスクに書き込むための権限が必要になります。

1. [新規WordPressサイト] Nginx、MySQL、PHP 7.4、および最新バージョンのWordPressで構成されたデフォルトのホスティングスタックでローカルサイトを作成します。
2. [Kinstaからインポート] Kinstaでホストされているサイトを数回のクリックでローカルコンピュータに複製できます。作業が終わったら、Kinstaのステージング環境に反映し直すこともできます。
3. [カスタムサイト] 独自のホスティングスタックでローカルサイトを作成します。この方法では、お好みのPHPバージョンを選択し、データベース名を指定し、WordPressマルチサイトオプションを有効にすることができます。



DevKinstaには、ローカルWordPressサイト作成方法が3つある

続いて、それぞれのサイト作成方法について詳しくご紹介します。

WordPressサイトの新規作成

はじめに、「**新規WordPressサイト**」を選択します。このサイト作成方法では、サイト名、WordPress管理者ユーザー名、WordPress管理者パスワードを指定します。

A screenshot of a web application interface for creating a new WordPress site. The title is '新規WordPressサイト' (New WordPress Site). There are three input fields: 'サイト名' (Site Name) with 'kinstalife', 'WordPressの管理画面のユーザー名' (WordPress Admin Username) with 'kinstalife', and 'WordPressの管理画面のパスワード' (WordPress Admin Password) with masked characters. A blue button labeled 'サイト作成' (Create Site) is at the bottom right. The interface is dark-themed with white text and light gray input fields.

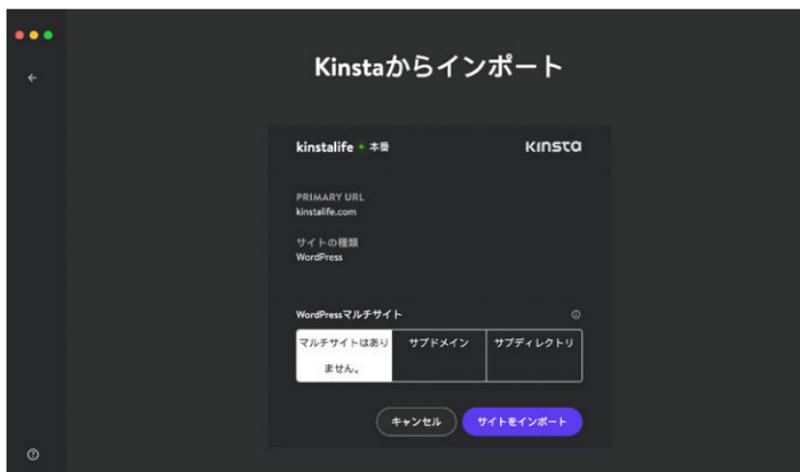
DevKinstaでWordPressサイトを新規作成

Kinstaからのインポート

2つ目の選択肢は、Kinstaですでにホストされているサイト環境をインポートすることです。これを行うには、「**Kinstaからインポート**」をクリックして、MyKinstaのログイン情報を入力してください。

ログインしたら、ローカルコンピュータに複製したいKinsta環境を選択してください。DevKinstaはKinstaの本番環境とステージング環境の両方をサポートしています。いずれかを選択してください。

環境をクリックした後、サイトがマルチサイトであるかどうかを指定し、「**サイトをインポート**」をクリックしてサイトの複製を開始します。



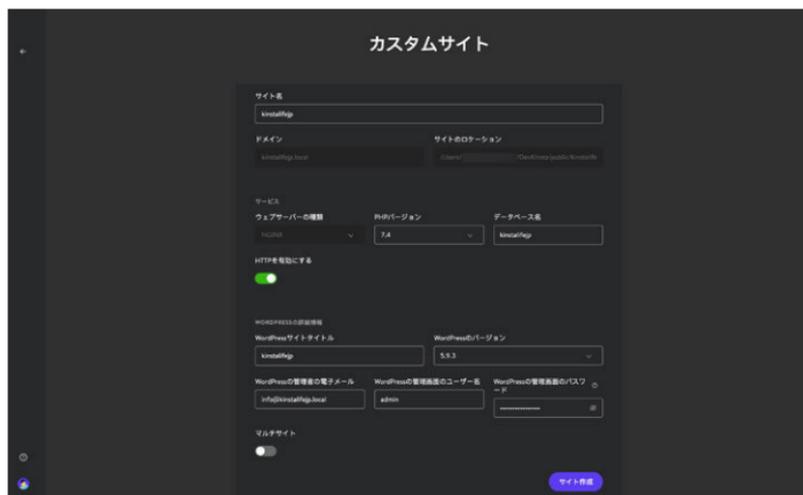
「Kinstaからインポート」機能を使って、本番サイトを複製する

カスタムサイト

3つ目の選択肢では、ローカル環境でのWordPressインストールに対して特定の設定を行うことができます。

ここでは、[カスタムサイト](#)で管理できる設定内容をご紹介します。

- サイト名
- PHPバージョン(PHP 7.2, 7.3, 7.4, 8.0)
- データベース名
- HTTPS接続の有効化
- WordPressサイトタイトル
- WordPress管理者メールアドレス
- WordPress管理者ユーザー名
- WordPress管理者パスワード
- WordPressマルチサイトモード



DevKinstaで、独自の設定を用いて、ローカル環境にWordPressをインストール

必要な設定を行った後、「サイト作成」をクリックすると、サイト作成処理が始まります。

DevKinstaのサイト情報画面

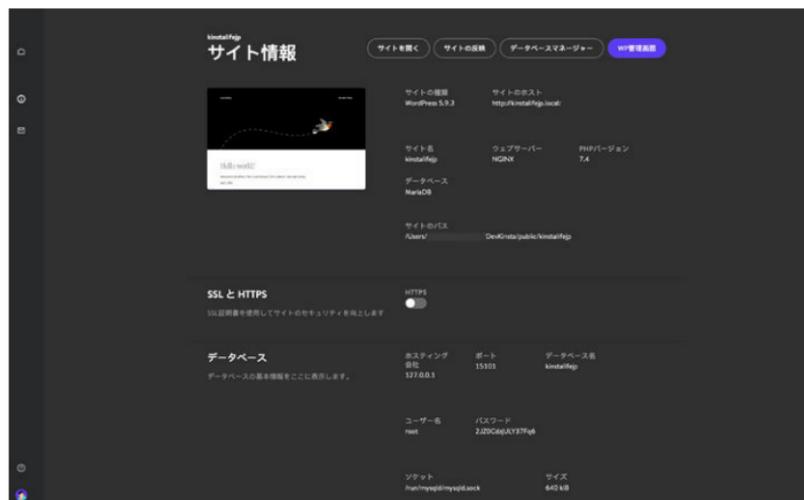
サイトを作成すると、「[サイト情報](#)」画面が表示されます。DevKinstaで作成した各サイトには、それぞれの「サイト情報」画面があります。この画面は、ローカルWordPressサイトのミッションコントロールダッシュボードだとお考えください。

「サイト情報」には、サイトID詳細、PHPバージョン、WordPressバージョン、[SSLモード](#)、データベース認証情報、サイトホスト名などの情報が表示されます。

また、「サイト情報」画面からは、ウェブブラウザでローカルサイトを開いたり、[Kinstaステージング環境](#)にサイトを反映したり、データベース管理のために[Adminer](#)を起動したり、ローカルWordPressサ

イトのWordPress管理画面にアクセスしたりできます。

それでは、「サイト情報」画面各セクションの重要な点を説明します。



DevKinsta「サイト情報」画面

「サイト情報」画面上部には、WordPressサイトに関する一般的な情報が表示されます。開発者にとっては、「パス」と「ホスト」が特に重要です。

「パス」は、ローカルファイルシステム上のWordPressファイルが位置する場所を指します。フォルダのアイコンをクリックすると、そのフォルダに直接移動して、テーマやプラグインなどの編集を始めることができます。

「ホスト」は、カスタム「.local」ドメイン名(例:<https://kinstalife.local>)で、ウェブブラウザでローカルWordPressサイトにアクセスするために使用します。

「SSL と HTTPS」セクションには、HTTPSのトグルがあり、ローカルWordPressサイト用の [SSL証明書](#) が自動的に生成され、HTTPS接続でサイトにアクセスできるようになります。

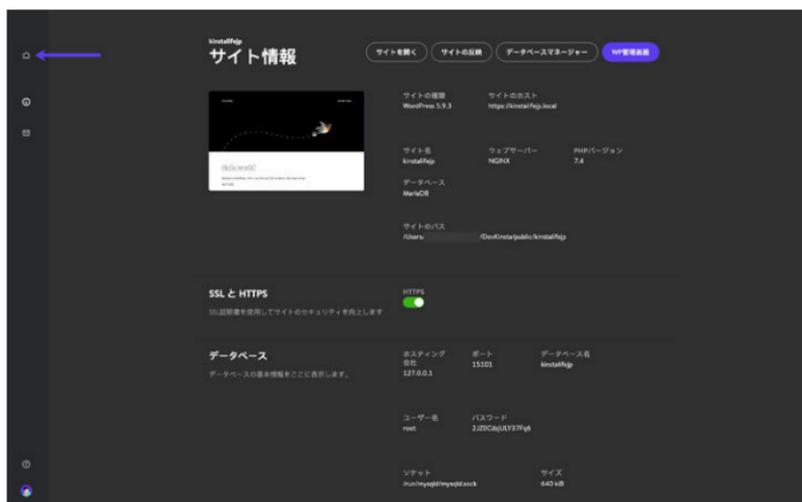
「データベース」セクションには、ローカルWordPressサイトのデータベース設定が表示されます。これは、MySQLコマンドラインツールやサードパーティのデータベース管理ツールを使って [WordPress データベース](#) にアクセスしたい場合に便利です。

最後に、「WordPress」セクションには、WordPressコアのバージョンとマルチサイトモードのステータスが表示されます。さらに、WordPressサイトのトラブルシューティングのために [WP_DEBUGモード](#) を有効にするトグルもあります。

DevKinstaで複数のサイトを管理

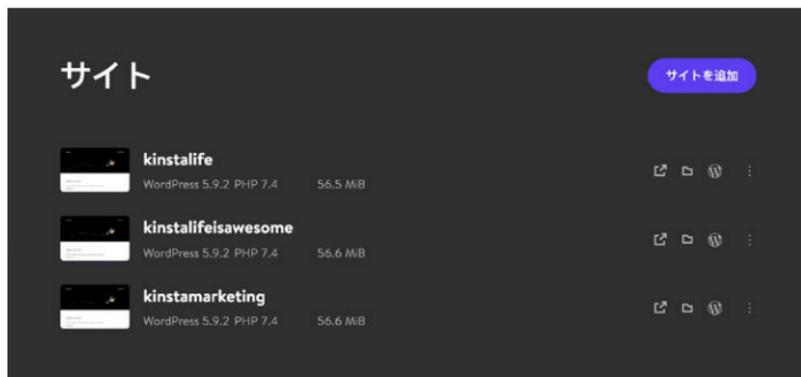
DevKinstaは、代行業者、開発者、または一度に複数のプロジェクトに取り組む方にとって特に便利です。複数のローカルWordPressサイトの展開と管理に使用することができます。DevKinstaの個々のローカルWordPressサイトは、独自のコンテナ化された環境内に構築されます。つまり、個々のサイトで、別々のPHPバージョン、WordPressバージョン、メール受信箱などを設定できます。

DevKinstaサイトの一覧を表示するには、左側のサイドバーにあるサイトのアイコンをクリックしてください。



DevKinstaで複数のWordPressローカル環境をデプロイする

この画面には、すべてのローカルWordPressサイトが表示されます。サイトを追加するには、「サイトを追加」ボタンをクリックします。



DevKinstaで複数のローカルWordPressサイトを管理する

サイトをMyKinstaに反映

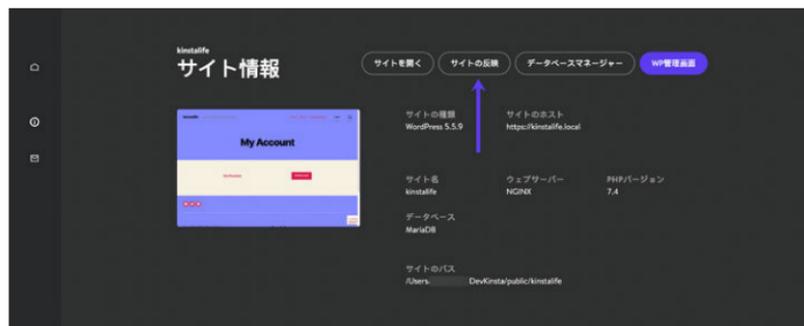
お客様のWordPressサイトがKinstaでホストされている場合、DevKinstaからKinstaのステージング環境に簡単に作業内容を反映することができます。

DevKinstaでは、サイトの作成と管理を簡単に行えます。さらに、ワンクリックでKinstaサーバーにその内容を反映することすら可能です。



Tom Rankin氏
WPKube

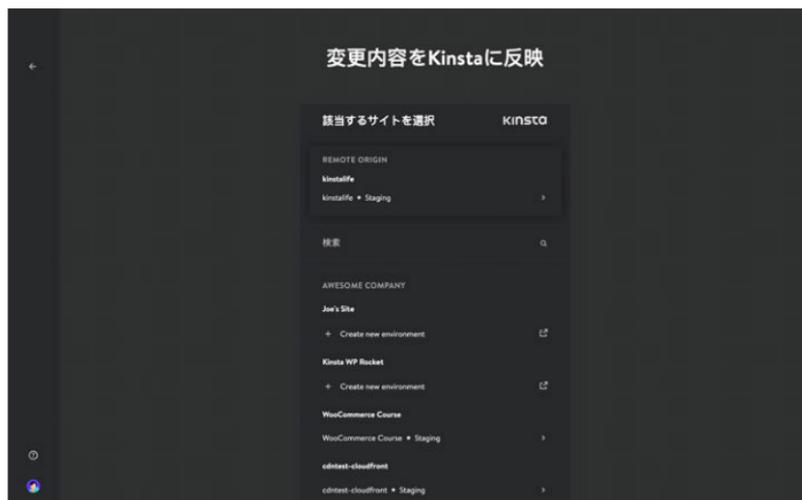
ローカルサイトをKinstaに反映するには、サイト情報ページの「サイトの反映」ボタンをクリックします。



ローカルWordPressサイトをKinstaのステージング環境に反映

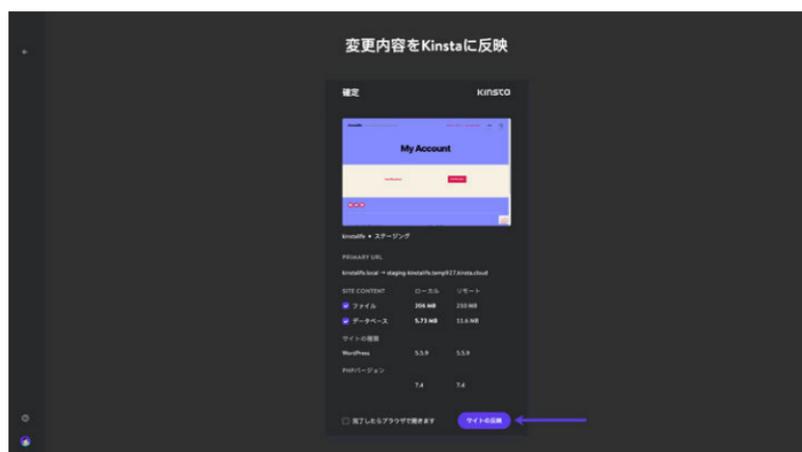
MyKinstaログイン情報が求められることがあります。

次に、反映先となるサイトを選択します。このプロセスにより、既存のステージング環境がある場合、そのコンテンツが上書きされることにご注意ください。



変更を反映するステージング環境を選択する

最後に「サイトの反映」をクリックして操作を確定します。



ステージング環境への反映を確定する

ローカルWordPressサイトをKinstaに反映したら、ステージング環境のURLからサイトを見ることができます。その後、準備ができたら、MyKinstaにて**ステージング環境を本番環境に反映**(一般に公開)することもできます。

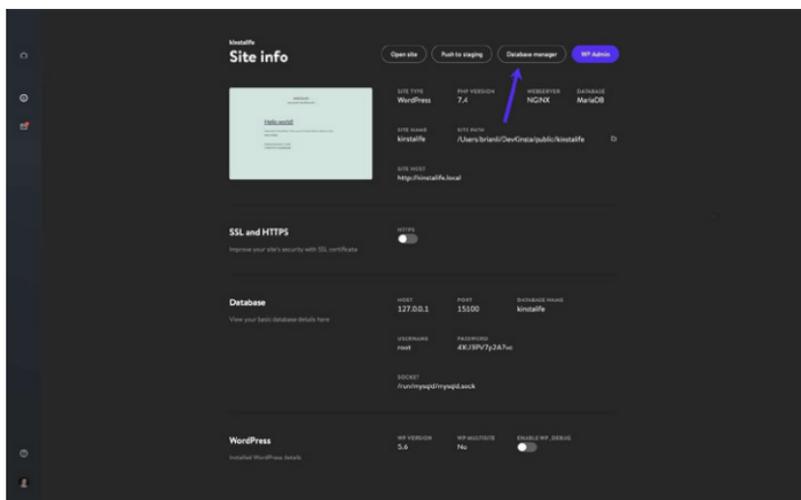
MyKinsta見本アカウント(無料)で、ステージングから本番環境への反映を楽々確認



Adminerでデータベースを管理

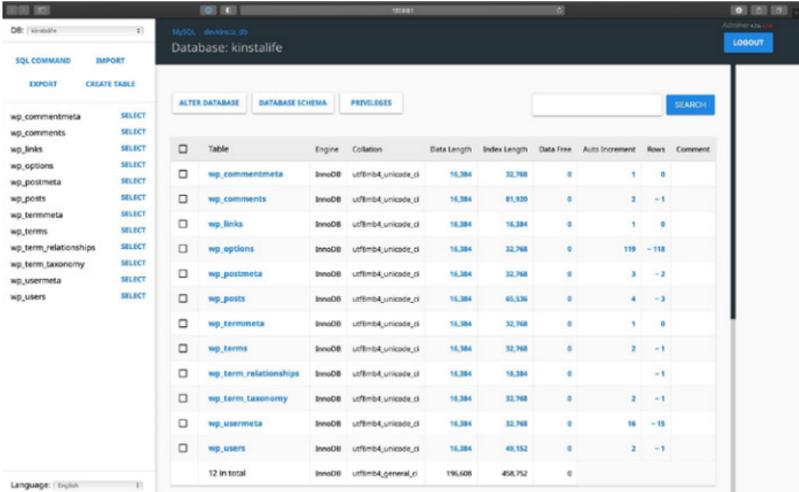
DevKinstaにはAdminerという軽量のデータベース管理ツールが統合されています。Kinstaでホストするサイトで使用されているphpMyAdminのように、Adminerを使って、データベーステーブルの編集、データベースクエリの実行、バックアップのインポートとエクスポートなどを行うことができます。

Adminerを起動するには、「サイト情報」ページ上部にある「データベースマネージャー」ボタンをクリックします。すると、Adminerがデフォルトのウェブブラウザで表示されます。



「データベースマネージャー」をクリックして、DevKinstaのAdminerにアクセス

Adminerを開くと、WordPressデータベースのテーブルが表示されます。下のスクリーンショットは、テストサイト「kinstalife」のもので、「テーブル」の欄には、「wp_comments」や「wp_posts」など、WordPressデフォルトのテーブルが表示されています。

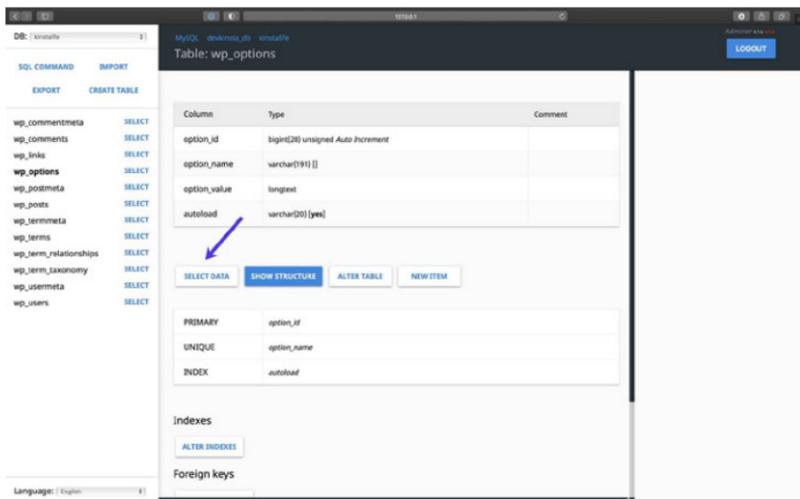


The screenshot shows the Adminer interface for a MySQL database named 'kinstalife'. On the left, there is a list of tables with a 'SELECT' button next to each. The main area displays a table with columns: Table, Engine, Collation, Data Length, Index Length, Data Free, Auto Increment, Rows, and Comment. The table lists various WordPress tables such as wp_commentmeta, wp_comments, wp_links, wp_options, wp_postmeta, wp_posts, wp_termmeta, wp_terms, wp_term_relationships, wp_term_taxonomy, wp_usermeta, and wp_users. A summary row at the bottom indicates '12 in total'.

Table	Engine	Collation	Data Length	Index Length	Data Free	Auto Increment	Rows	Comment
<input type="checkbox"/> wp_commentmeta	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	32,768	0	1	0	
<input type="checkbox"/> wp_comments	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	81,920	0	2	-1	
<input type="checkbox"/> wp_links	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	16,384	0	1	0	
<input type="checkbox"/> wp_options	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	32,768	0	119	-118	
<input type="checkbox"/> wp_postmeta	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	32,768	0	3	-2	
<input type="checkbox"/> wp_posts	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	65,536	0	4	-3	
<input type="checkbox"/> wp_termmeta	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	32,768	0	1	0	
<input type="checkbox"/> wp_terms	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	32,768	0	2	-1	
<input type="checkbox"/> wp_term_relationships	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	16,384	0		-1	
<input type="checkbox"/> wp_term_taxonomy	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	32,768	0	2	-1	
<input type="checkbox"/> wp_usermeta	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	32,768	0	16	-15	
<input type="checkbox"/> wp_users	InnoDB	utf8mb4_unicode_ci	16,384	49,152	0	2	-1	
12 in total	InnoDB	utf8mb4_general_ci	196,608	408,752	0			

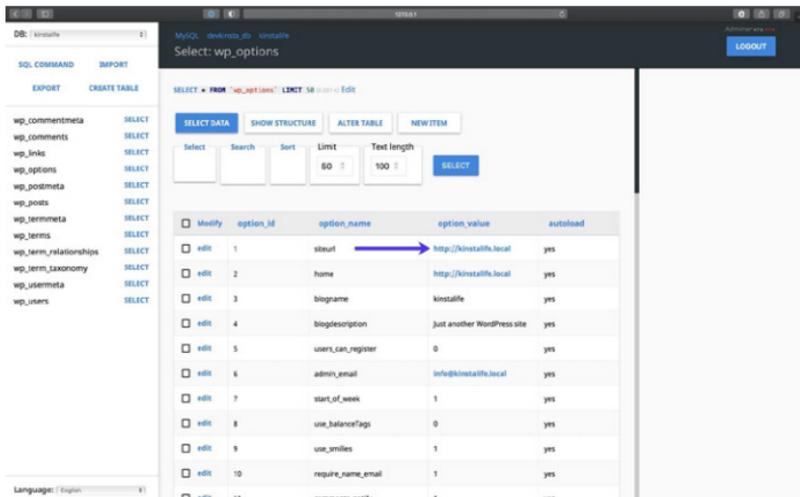
AdminerでWordPressのデータベースを表示

データベースエントリを編集するには、目的のテーブルをクリックします。例えば、WordPressサイトのホームとサイトのURLを編集したい場合は、「wp_options」テーブルをクリックします。



「データの選択」をクリックして、WordPressデータベースのテーブルを編集する

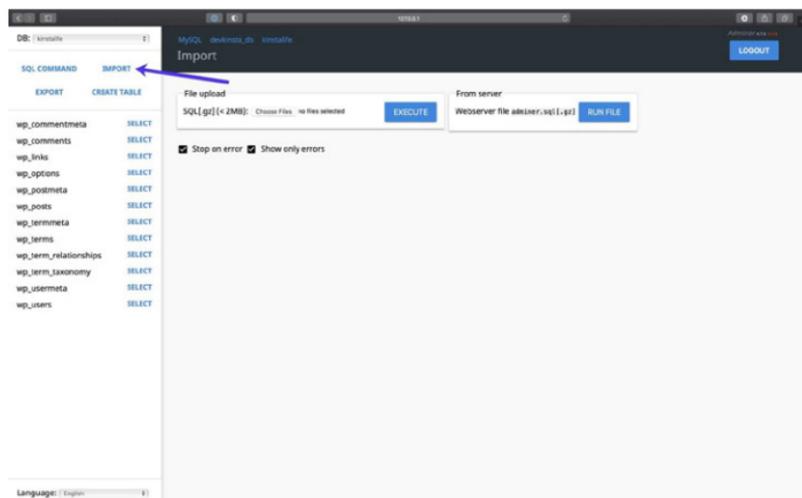
このページでは、「siteurl」の「option_value」を編集して、WordPressサイトのサイトURLを更新することができ、ホームURLについても同様のことができます。



AdminerでWordPressのデータベース「option_value」を編集する

Adminerは、データベースのインポートおよびエクスポートもサポートしています。これは、**ダウンロード可能バックアップデータ**に付随するようなデータベースのバックアップファイルを扱う際に便利です。

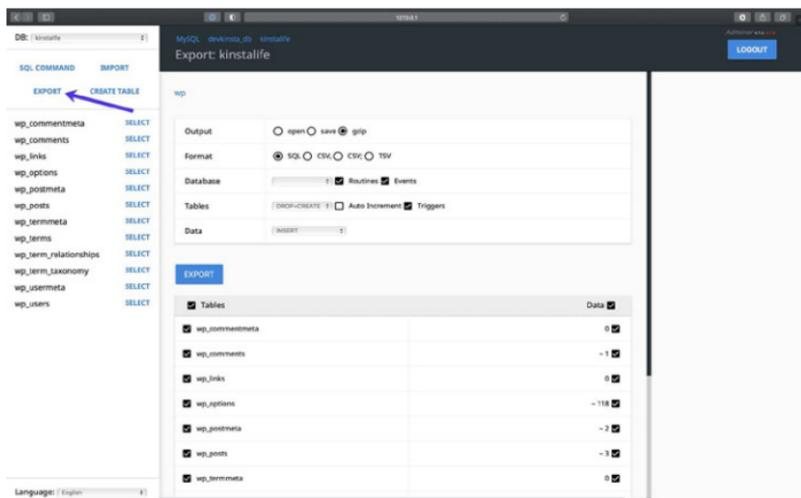
データベースファイルをインポートするには、Adminerの左上隅にある「インポート」をクリックします。「ファイルを選択」をクリックしてデータベースのバックアップを選択し、「実行」をクリックしてインポート処理を開始します。Adminerは「.sql」ファイルと圧縮した「.sql.gz」ファイルの両方をサポートしています。



Adminerでデータベースのバックアップをインポートする

データベースのバックアップデータをエクスポートするには、Adminerの左上隅にある「エクスポート」をクリックします。出力形式に「gzip」、データベース形式に「SQL」を選択し、その他の設定はそのままにしておきます。「エクスポート」をクリックすると、処理が始まります。

WordPressデータベースが圧縮「.sql.gz」形式でエクスポートされます。

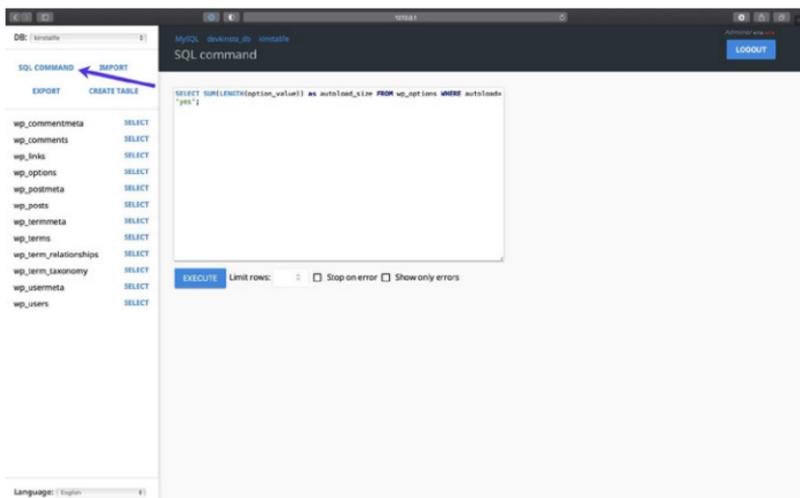


Adminerからのデータベースのバックアップデータをエクスポートする

Adminer はSQLコマンドをサポートしており、WordPressデータベース上でデータベースクエリを実行することができます。例えば、データベース内で**オートロードしたデータ量**を調べるには、Adminerで以下のSQLコマンドを実行することができます。

```
SELECT SUM(LENGTH(option_value)) as autoload_size  
FROM wp_options WHERE autoload='yes';
```

データベースクエリを実行するには、Adminer の左上隅にある「SQL コマンド」をクリックします。データベースクエリを指定、「実行」をクリックしてコマンドを実行します。



AdminerのSQLコマンドでデータベースにクエリを実行する

DevKinstaのAdminer統合により、WordPressのデータベースを高度に制御できます。

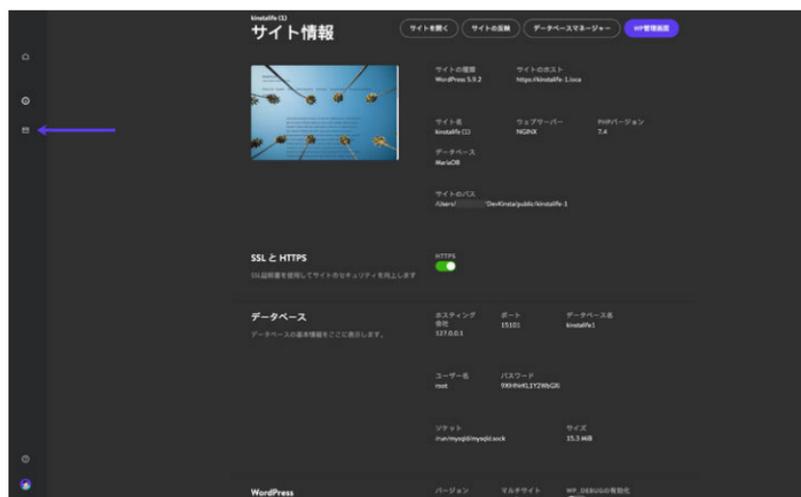
データベーステーブルの編集、バックアップのインポート/エクスポート、または複雑なSQLコマンドの実行など、DevKinstaではこの全てが実行可能です。

WordPressからの送信メールの検査

DevKinstaには、**SMTPサーバー・メール捕捉機能**が組み込まれています。つまり、ローカルWordPressサイトから、本番サイトのように送信メールを送ることができます。とは言え、送信メールは捕捉の上、DevKinstaのメール受信箱に保存されます。

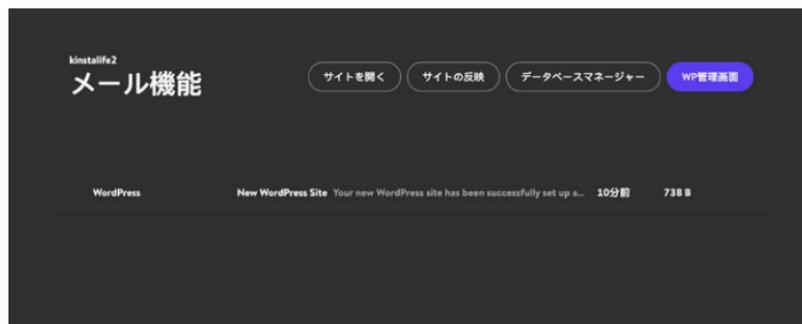
これにより、DevKinstaを使用して(訪問者や顧客のメール受信箱に実際にメールを送ることなく)、[マーケティング自動化ワークフロー](#)や[WooCommerce](#)の注文確認などのメール送信機能をテストすることができます。

DevKinstaのメール受信箱を見るには、左側のサイドバーにあるメールアイコンをクリックしてください。



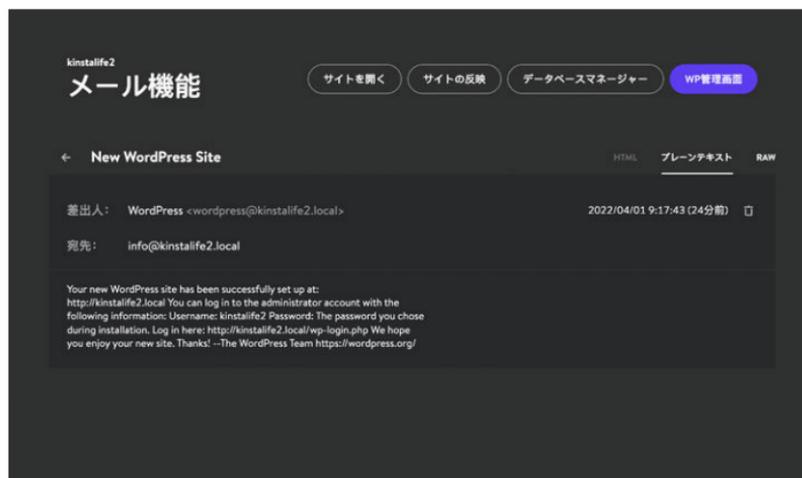
DevKinstaには、SMTPサーバーとメール捕捉機能が組み込まれている

メール受信トレイには、捕捉した送信メールが一覧で表示されます。下のスクリーンショットでは、テストサイト「kinstalife」からの送信メールが表示されています。



DevKinstaメール受信箱にある送信メール

送信メール確認するには、該当するメールをクリックします。DevKinstaでは、各メールの「差出人」アドレス、「宛先」アドレス、本文の内容、送信時刻などを確認できます。



DevKinstaでメールの受信箱を表示

また、メールの表示方法として、HTML、プレーンテキスト、RAWのいずれかを選択することができます。HTMLモードはHTMLメールのテンプレートをテストするのに便利で、RAWモードでは、MIME-VersionやX-Mailerなどのメールヘッダを直接検査することができます。

DevKinstaの詳細については、[公式コミュニティフォーラム](#)や、[DevKinstaのドキュメント](#)、[YouTubeの役に立つDevKinsta説明動画](#)をご覧ください。

そして、まだお持ちでなければ、[DevKinstaのダウンロードはこちら](#)からどうぞ。

DevKinstaは、無料で使える、優れたローカルWordPressサイト開発ツールです。サーバーそのものにも、スタッフの方々に対しても言えることですが、私はKinstaの大ファンです。このツールのおかげで、ローカル/本番環境の同期が非常に楽になりました。



Ahmad Awais氏

第二章

DesktopServerを使って Mac/Windowsのローカル環境にWordPress をインストールする方法

DesktopServerは、ServerPress社の素晴らしいサービスです。これを使って、MacやWindowsのローカル環境にWordPressを簡単にインストールできます。



DesktopServerのイメージ

ボタンをクリックするだけで、あっという間に新規サイト開発を開始することができます。このサービスは、[マルチサイト](#)や[WP-CLI](#)にも完全対応しています。

ServerPressには、無料版と有料版があり、後者は年間99.95ドルです。有料版には、以下のような優れた機能が搭載されています。

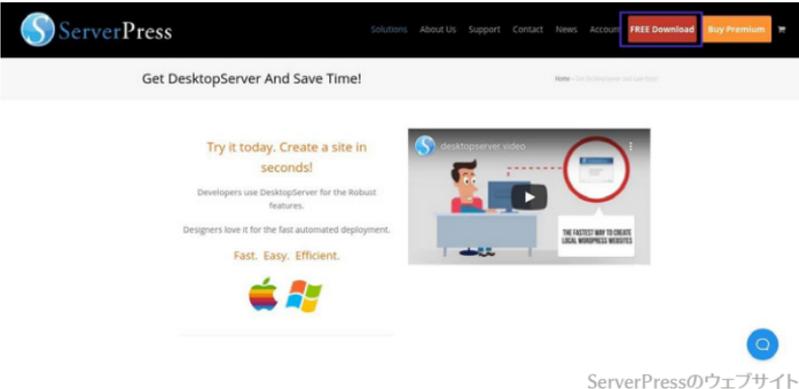
- マルチサイト対応
- サードパーティ製バックアップのインポート／エクスポート
- 本番サイトへの直接デプロイ
- ログインプラグインのバイパス(迂回)

実際のニーズに合わせて、どのバージョンが最適かを判断してください。ちょっとしたテストをするだけなら、無料版で十分です。

DesktopServerをパソコンにダウンロードする

WordPressをローカル環境にインストールするには、まず同社のウェブサイトからDesktopServerをダウンロードします。Windows版とMac版があります。今回の例では、Windows版を使用します。

ウェブサイトで、右上の「Free Download」ボタンをクリックします(ご希望であれば、有料版を「Buy Premium」から購入可能です)。



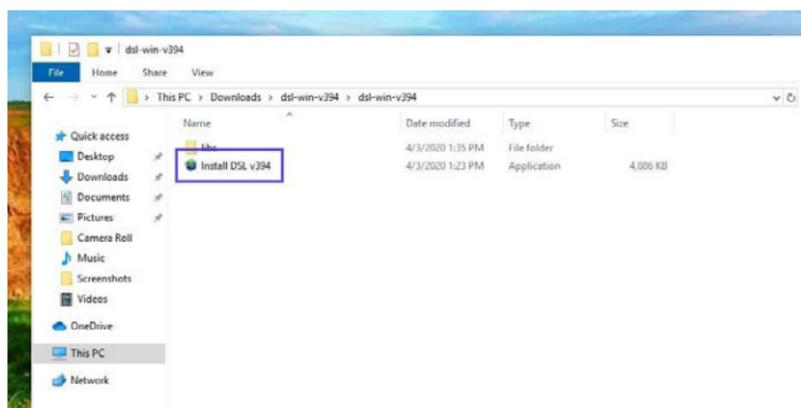
The screenshot shows the ServerPress website header with navigation links: Solutions, About Us, Support, Contact, News, and Account. The 'Free Download' button is highlighted with a red box. Below the header, there is a promotional banner with the text 'Get DesktopServer And Save Time!' and a video player showing a person at a computer. The video player has a red circle around the play button. Below the video, there is a blue circular icon with a white 'Q' inside, and the text 'ServerPressのウェブサイト'.

これにより「.zip」ファイルのダウンロードが始まります。

DesktopServerインストーラの起動

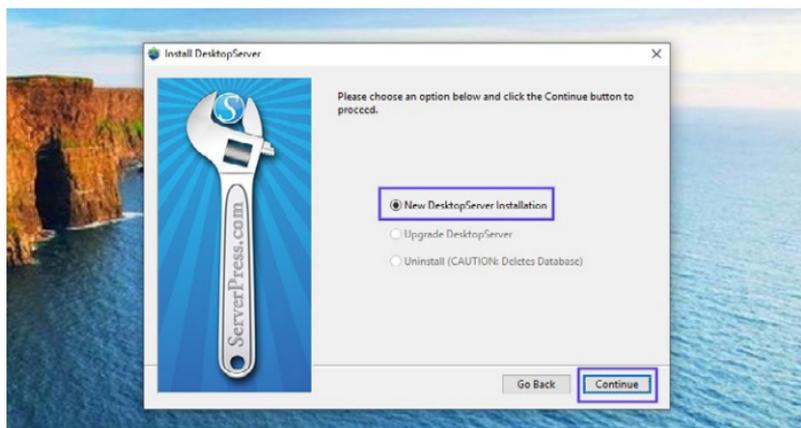
ファイルのダウンロードが完了したら、次はDesktopServerのインストーラを起動します。そのためには、先ほどダウンロードしたファイルを解凍する必要があります。解凍には数分かかることがあります。

完了したら、「Install DSL」をクリックしてください。



DesktopServerインストーラ

初回起動時には、管理者権限での再起動を促すメッセージが表示されます。「Continue」を選択します。続いて、利用規約への同意と、インストールオプションの選択が求められます。



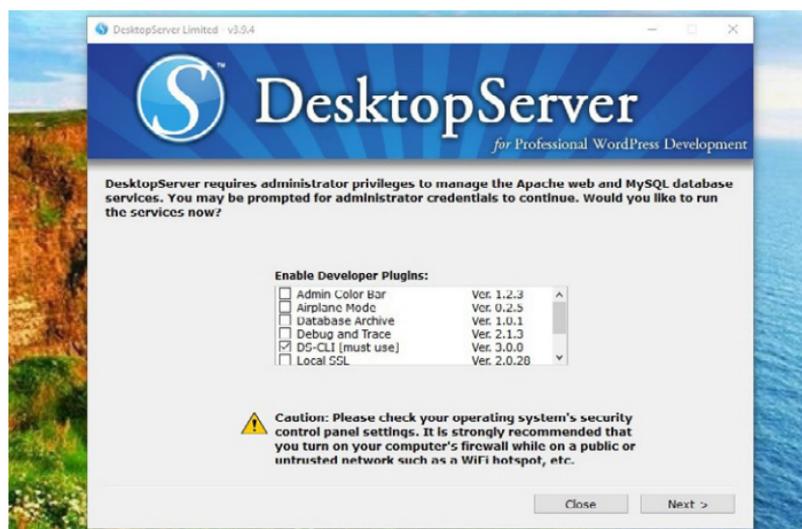
DesktopServerのインストール画面

「New Desktop Installation」を選択したまま、「Continue」をクリックします。インストールプロセスが始まります(ちなみに、これには少し時間がかかります)。

インストールが完了すると、完了を知らせるポップアップが現れます。また、コンピュータのディレクトリのどこにこのアプリケーションがあるかが表示されます。完了したら、「Finish」をクリックします。

プラグインの有効化とApacheおよびMySQLサービスの開始

インストールが完了すると、さまざまな開発者向けプラグインを有効にすることができます。



DesktopServer開発者向けプラグイン画面

ここでは、WordPressをローカル環境にインストールする際に使える開発者向けプラグインを簡単にご紹介します。中でもバイパスログインとDS-CLIプラグインを強くお勧めします。

- 【Airplane mode】ローカル開発時に外部ファイルの読み込みを制御。
- 【Bypass login】(開発者によるログイン認証をバイパス)コンボボックスで最初の100個のユーザー名を素早く選択。
- 【Clean Import】.htaccessをリセットし、サードパーティのホストからのキャッシュをクリアすることができる。
- 【Debug and Trace】WP_DEBUG = trueの設定を行い、PHPとJavaScriptでクロスプラットフォーム/言語のトレース

スステートメントを有効化する。

- 【Dreamweaver Support】Dreamweaverプロジェクトファイルの自動作成や、テンプレートファイルやstyle.cssを操作する際のWYSIWYGモードを有効にする。
- 【DS-CLI】プロの開発者向けに強化された、クロスプラットフォームのコマンドラインインターフェース。CLI、Composer、Git、PHPUnitを簡単に使用することができる。NodeJSとNPMが含まれており、GRUNT、Gulp、その他のNodeの依存関係をインストール可。
- 【DS-Deploy】ローカルDesktopServerから本番サーバーにサイトを移動。
- 【InnoDB Autoconvert】作成、コピー、移動、インポートの操作で、[サイトのテーブルをInnoDBに変換](#)。
- 【Local Admin Color Bar】Adminバーの色を変更できる。
- 【Mailbox Viewer】開発者がオフラインでもメール配信サービスを閲覧できる。

これらの中には、有料版でしか利用できないものもありますので、ご注意ください。

完了したら、「Next」を選択します。続いて、ウェブサービスとデータベースサービスを開始するかどうか尋ねられるので、もう一度「Next」をクリックします。

新規サイトの開発

プラグインを有効にし、ウェブとデータベースのサービスを開始すると、次に「Create a new development website」プロンプトが表示されます。



DesktopServerの新規サイト作成オプション

ここで、WordPressのインストールを行います。サイトの名前を決める必要がありますが、これはローカルアドレスにもなります。ここでは「testsite」としているので、開発用URLはローカルマシンの「testsite.dev」となります。



DesktopServerでサイト名を指定する

DesktopServerでは、さまざまなブループリントを作成することができます。ほとんど構築済みのテンプレートのようなものです。しかし、今回のケースでは、余計なものを使用せず、シンプルにインストールを進めます。

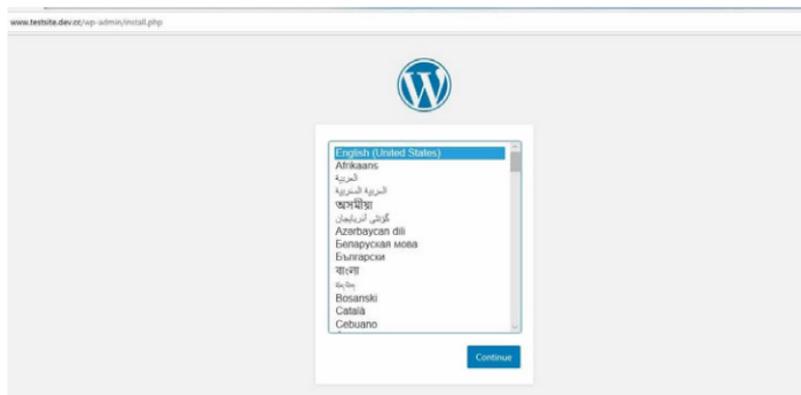
DesktopServerでは、常に最新バージョンのWordPressがデフォルトのブループリントとして用意されています。リポジトリからダウンロードして解凍する必要はありません。

デフォルトでは、サイトのルートはお使いのパソコンの「My Documents」フォルダにあります。これで問題なければ、そのままにしておいてください。ここでは整理しやすいように、Cドライブのルートに作成した「wordpress」というフォルダに変更しました。

準備ができれば、「Create」をクリックします。すると、ローカル環境にインストールしたWordPressのURLが表示されます。これをクリックすると、インストールが完了します。

WordPressサイトのインストールと設定

先ほどのリンクをクリックすると、ローカルWordPressサイトがブラウザのタブで開きます。



新規WordPress設定画面

言語を選択したら、次はサイトのタイトルを決め、ユーザー名、強力なパスワード、メールアドレスを決めます(後でサイトを公開する予定がある場合は、ユーザー名に「admin」を使わないようにしてください。—詳細は[WordPressセキュリティについての記事](#)をご覧ください)。



新規WordPressサイトのウェルカムページ

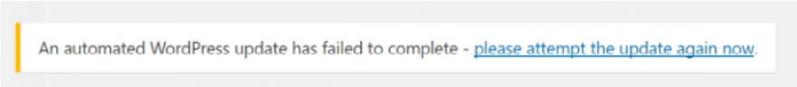
設定できたら「Install WordPress」を選択します。

WordPressのローカル環境でのインストールが完了しました。これで、ローカル環境にインストールしたサイトにアクセスして、テストすることができます。

それでは、ブラウザのアドレスバーから「testsite.dev」にアクセスしてみます。セットアップ時に「バイパスログイン」プラグイン機能を選択したので、[ドロップダウンメニュー](#)で管理者を選択し、自動的にログインすることができます。もちろん、本番環境では使用しないでしょうが、開発環境ではとても便利です。

DesktopServerを使ったWordPressのローカル環境インストールに関連するヒント

Windowsのファイルパーミッションの処理方法により、ログイン時に「WordPressのアップデートに失敗しました」というメッセージが表示される場合があります。

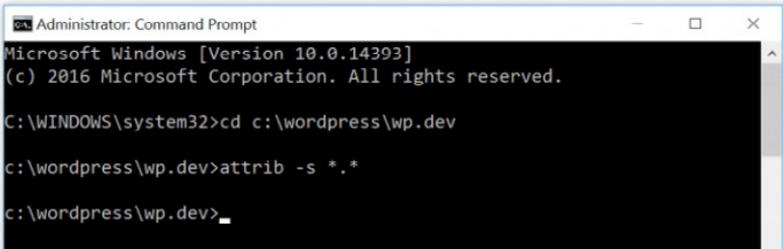


An automated WordPress update has failed to complete - [please attempt the update again now.](#)

WordPressのアップデート失敗についてのメッセージ

この問題を解決するには、管理者としてコマンドプロンプトを開き、WordPressのディレクトリフォルダ内で以下のコマンドを実行します。

```
attrib -s *.*
```



```
Administrator: Command Prompt
Microsoft Windows [Version 10.0.14393]
(c) 2016 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\WINDOWS\system32>cd c:\wordpress\wp.dev

c:\wordpress\wp.dev>attrib -s *.*

c:\wordpress\wp.dev>
```

WordPressのLAMPパーミッション

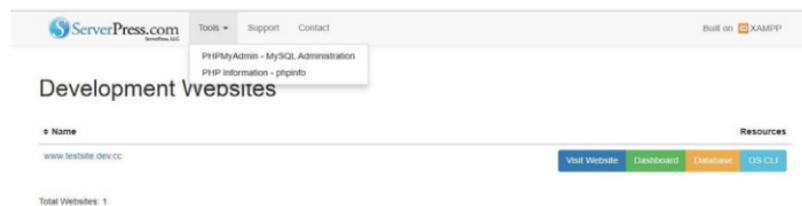
この方法についての詳しい説明は、[ServerPressで確認可能](#)です。

他のWordPressサイトを作成したり、編集したりするには、DesktopServer.exeファイルを再度起動するだけでOKです。サービスの停止や再開、新しいサイトの作成や編集、エクスポートやインポートなどが可能です。phpMyAdminにアクセスするには、左下の「Sites」ボタンをクリックしてください。



DesktopServerアプリケーションの「サイト」ボタン

また、ブラウザのアドレスバーに「localhost」と入力することもできます。これにより、ローカルホスト上の管理者インターフェースが表示されます。



DesktopServer管理者インターフェース(ローカルホスト)

ここから、WordPressサイト、管理画面、phpMyAdminのリンクを確認することができます。

もう一つの素晴らしい機能は、ワンクリックで WP-CLI (または DS-CLI)を利用できることです。上記のセットアッププロセスでDS-CLIオプションを選択した場合、ダッシュボード内にリンクが表示されます。それをクリックすると、WP-CLIコマンドが使用できます。

DesktopServerには、エクスポート機能があり、WordPressサイトを本番サイトや.zipファイルとしてエクスポート可能です。この機能を使うには、有料版が必要です。

WAMPを使って Windowsのローカル環境にWordPressをインストールする方法

WampServer(通称WAMP)は、Windowsに特化したApacheウェブサーバー、PHP、MySQLをバンドルしたソフトウェアです。

WAMPをパソコンにダウンロード&インストールする

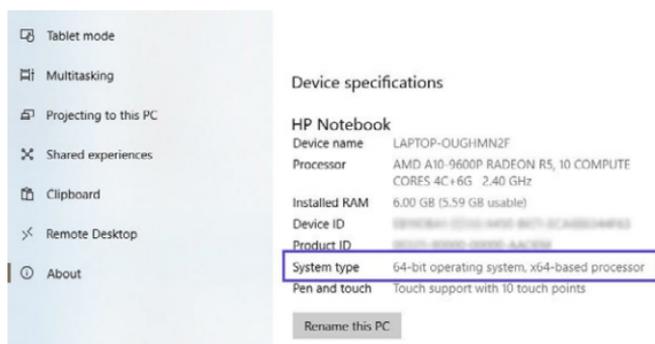
WAMPソフトウェアをダウンロード・インストールするには、[WampServerのウェブサイト](#)にアクセスし、「Start Using WampServer」を押します。



WampServerのウェブサイト

ダウンロードセクションに移動しますので、そこにある「WampServer 32-bit」と「WampServer 64-bit」の2つのバージョンから選ぶことができます。お使いのOSで推奨されている方を選択してください。

お使いのOSが32ビットか64ビットかわからない場合は、パソコンの「設定」>「詳細情報」から確認可能です。



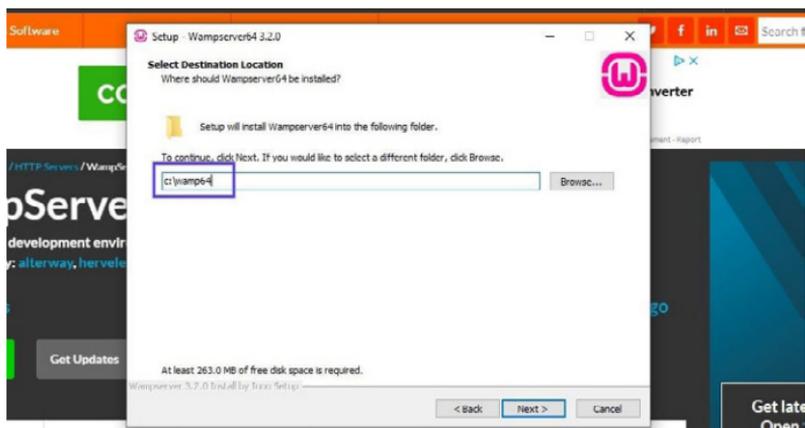
Windowsのデバイス仕様ページ

この画面にOSの種類が表示されています。

Wampserver.exeファイルを実行してインストールを開始する

ダウンロード後、wampserver.exeファイルをクリックして、インストーラを実行してください。この作業には1~2分かかることがあります。

また、ファイルがどこにダウンロードされたかメモしておくと、後からすぐに確認できます。



Wampのセットアップウィンドウ

画面上に一連の指示が表示され、インストール処理が完了します。

このプロセスで、ウェブブラウザでを定義するよう求められます。これについては、コンピュータの「Program Files」に移動し、いつでも好みのブラウザに変更できます。

新しいMySQLデータベースの作成

次のステップでは、空のMySQLデータベースをセットアップします。WAMPを起動すると、画面の右下に緑色のアイコンが表示されます。

そのアイコンをクリックし、続いて「phpMyAdmin」をクリックします。これでブラウザのログイン画面が表示されます。



phpMyAdminログインページ

ユーザー名の欄に「root」と入力し、パスワードの欄は空欄のまま、「Go」ボタンを選択します。次に「Databases」をクリックします。



phpMyAdminのデータベースページ

「Create Databases」の項目で、新しいデータベースに名前を付けます。次に、「Create」をクリックします。これで、データベースの作成が完了しました。

WordPressのインストールとファイルの解凍

データベースの作成が完了したら、次はWordPressをローカル環境にインストールします。これを行うには、WordPress.orgにアクセスし、「Get WordPress」をクリックし、続いて「Download WordPress」をクリックします。



Priceless, and also free

Download WordPress and use it on your site.

Download WordPress 5.4.2

[Download .tar.gz](#)

WordPress.orgのダウンロードページ

これにより、.zipファイルがコンピュータにダウンロードされます。ファイルを解凍するには、フォルダを右クリックして「すべて展開」を選択します。

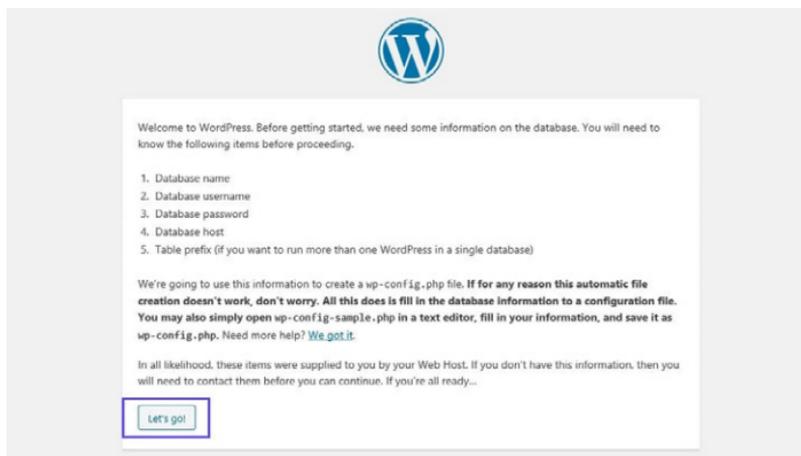
解凍が終わったら、フォルダを右クリックして「コピー」を選択します。WAMPをダウンロードしたフォルダに移動し、「wordpress」フォルダをそのディレクトリに貼り付けます。

この時点で、必要に応じて「wordpress」フォルダの名前を変更することもできます。このフォルダの名前は、ローカル環境にインストールしたWordPressのURLになります。今回の説明では、「mytestsite」という名前に変更しておきます。

ウェブブラウザでローカルWordPressサイトを見る

ウェブブラウザを開き、検索バーに「http://localhost/mytestsite/」と入力します。もちろん「mytestsite」の部分は、「wordpress」フォルダに付けた名前に置き換えてください。

その後、一連のプロンプトが表示されますので、**WordPressインストール**のセットアップを進めていきましょう。言語を選択し、データベース情報を確認します(前の項目で説明したのと同じ手順です)。設定が完了したら「Let's go!」をクリックします。



新規インストールしたWordPressのデータベース情報ページ

次の画面では、データベースの情報を入力します。名前はデータベース名、ユーザー名は「root」、パスワードの欄は空欄のままでOKです。

次に、「Run the installation」ボタンをクリックします。そして、サイトの名前を決め、ユーザー名とパスワードを作成します。

完了したら、「Install WordPress」を選択します。ソフトウェアのインストールが完了すると、「Success!」メッセージが表示されます。

その後、「Log In」をクリックします。WordPressサイトの管理者ログインページが表示されます。

以上でインストールは完了です。これで、ローカルテスト環境が利用できます。

MAMPを使ってMac のローカル環境に WordPressをインストール する方法

Macをお使いであれば、MAMPが便利です。MAMPとは、Macintosh、Apache、MySQL、PHPの略です。洗練されているながら、簡単に使うことができます。

MAMPをパソコンにダウンロード&インストールする

前述の2つの方法と同様に、最初のステップは、MAMPをダウンロード・インストールすることです。これは、[MAMPの公式ウェブサイト](#)から行うことができます。

Download **MAMP & MAMP PRO**



MAMP & MAMP PRO 5.7

macOS 10.10+ & 64-Bit processor (Intel)

Users of version 4 can update at a low price



MAMP & MAMP PRO 4.2.0

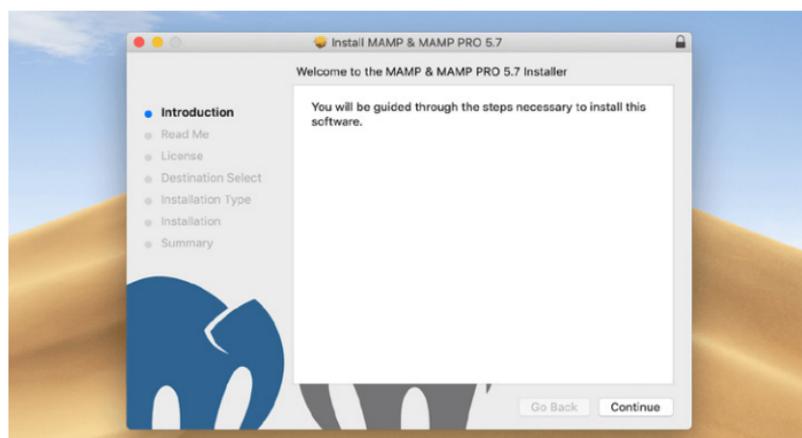
Windows 7, 8.1, 10

MAMPのダウンロード画面

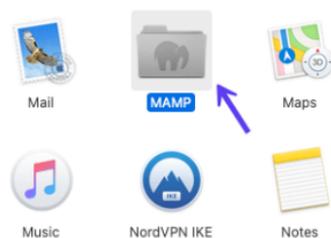
なお、MAMPは無料でダウンロードして使用することができますが、[有料プラン](#)もあります。

MAMPの利用開始とサーバーの立ち上げ

ダウンロードが完了したら、「mamp.pkg」ファイルをクリックしてください。インストール画面が表示されます。「Continue」ボタンを選択して、一連のプロンプトに従ってください。



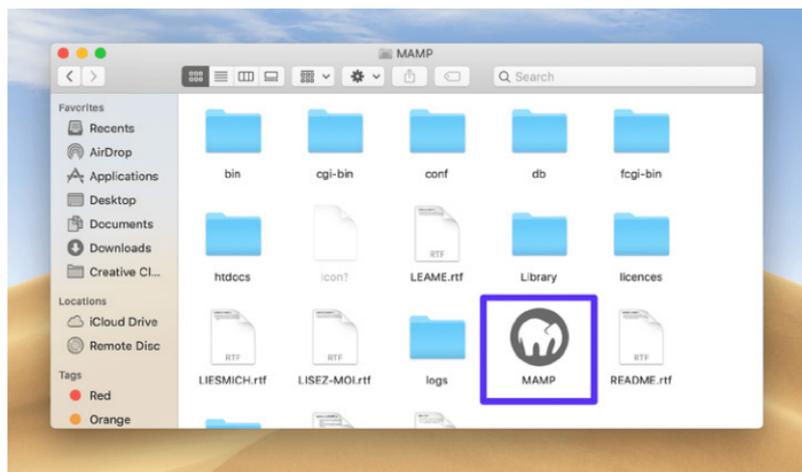
MAMPのインストール画面



MAMP(アプリケーションフォルダ)

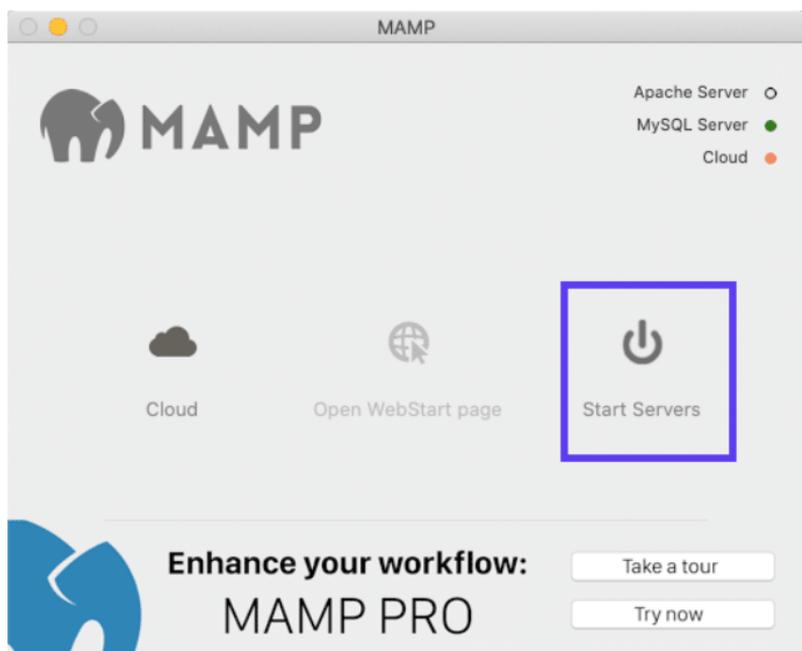
次に、パソコンの「アプリケーション」に移動し、「MAMP」フォルダをクリックします。

フォルダ内、MAMPの“象”のアイコンをクリックします。



MAMPアプリケーションアイコン

新しいウィンドウが表示されますので「Start Servers」をクリックします。

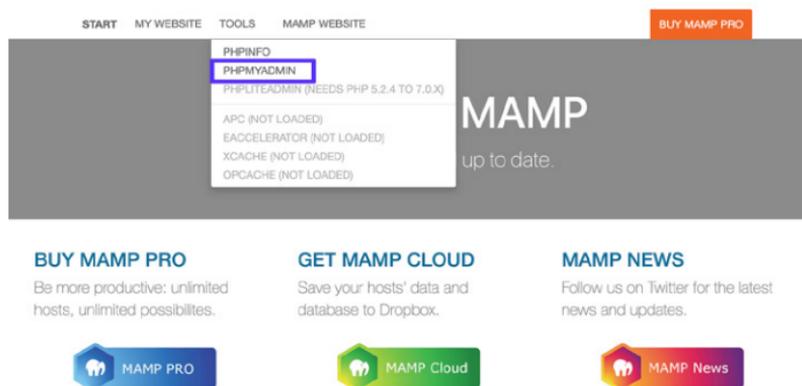


MAMPの「Start Servers」オプション

ApacheとMySQLサーバーの起動により、ブラウザでWebStartページが開きます。

データベースの作成とユーザー情報の更新

さて、いよいよ新しいデータベースを作成します。WebStartページで、「Tools」>「phpMyAdmin」を選択します。



MAMPのWebStartページからphpMyAdminを開く

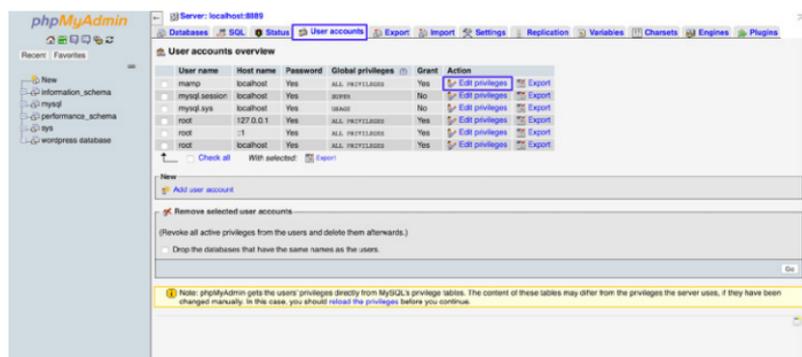
phpMyAdminが開いたら、「Databases」タブをクリックします。データベースの名前を決め、「Create」を選択します。



ローカルMAMPサイトのデータベースを新規作成

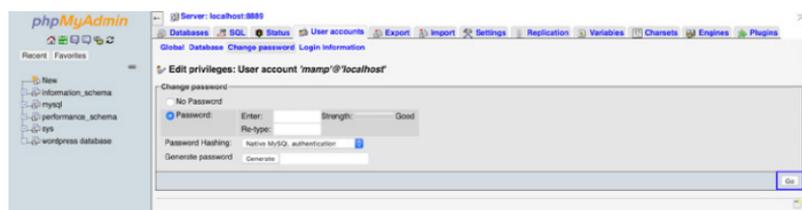
次に、MAMPにより作成された、デフォルトアカウントのMySQLデータベースユーザーログイン情報を更新する必要があります。これは、WordPressのインストールを完了するために必要となります。phpMyAdminのホーム画面に戻り、「User Accounts」タブをクリックします。

そして、ユーザー名がmampであるアカウントの「Edit privileges」をクリックします。



MAMPのデフォルトphpMyAdminユーザーアカウントを編集する

「Change password」タブを選択し、希望のパスワードを入力し「Go」をクリックします。



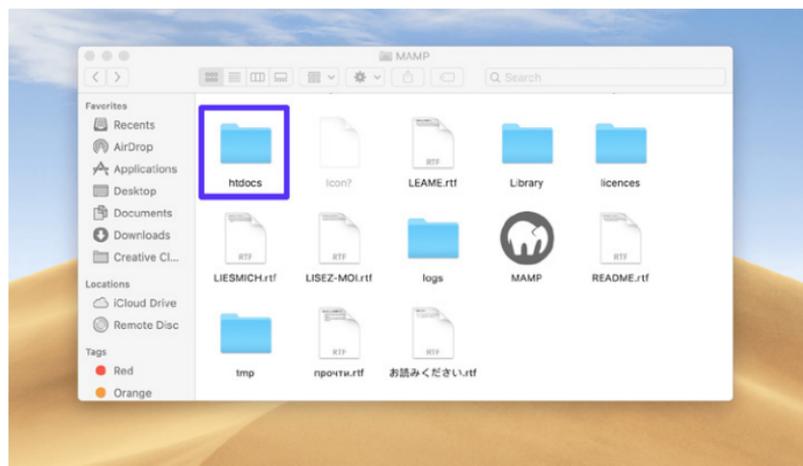
MAMPのデフォルトphpMyAdminユーザーアカウントのパスワードを変更する

ここまでできたら、phpMyAdminを閉じます。

WordPressをインストールして、ローカルホストからサイトにアクセスする

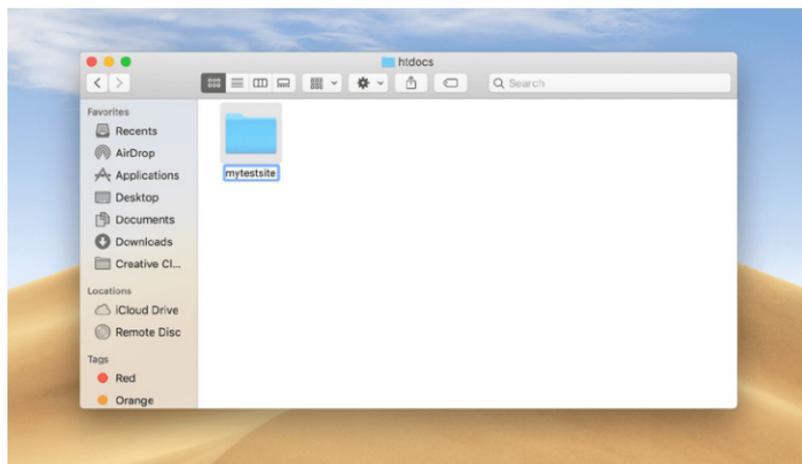
次に、[WordPress.org](https://wordpress.org/)のウェブサイトアクセスし、最新版のWordPressをダウンロードします。ダウンロードが完了したら、「wordpress」フォルダを解凍します。そのフォルダを右クリックして「コピー」を選択します。

コンピュータの「フォルダへ移動...」→「アプリケーション」→「MAMP」と進み、「htdocs」フォルダを開きます。



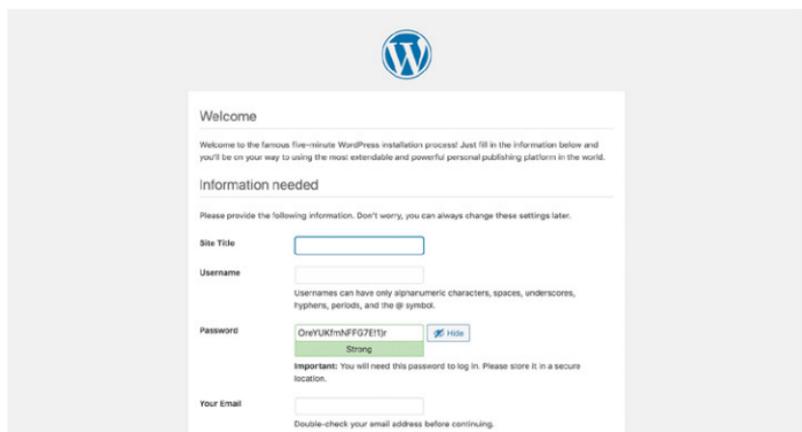
MAMPアプリケーション内のhtdocsフォルダ

そのフォルダの中に、先ほどコピーしたWordPressのフォルダを貼り付けます。名前は「mytestsite」などに変更することをお勧めします。



MAMPのローカルWordPressフォルダの名前を変更する

次に、新しいブラウザタブで「<http://localhost/8888/mytestsite>」にアクセスします。すると、データベースの認証情報を入力し、サイトの名前を入力するよう求められます。



WordPressインストールウィザード

WordPressのインストール画面が表示されたら、これで完了です。この手順についてさらに詳しい説明が必要な場合は、この電子書籍の前のセクションをご参照ください。

XAMPPを使って Mac、Windows、Linux のローカル環境に WordPressをインストール する方法

XAMPPもまた、WordPressをローカル環境にインストールするのに使用できる、人気の高いPHP開発環境です。XAMPPは、Windows、macOS、Linuxで使用できます。ここでは、Windowsでのインストール方法を説明しますが、Macでもほぼ同じ手順です。

XAMPPをパソコンにダウンロード&インストールする

[Apache Friends](#)のウェブサイトアクセスし、緑色の「ダウンロード」ボタンの隣にある「Windows向けXAMPP」を選択します(使用しているOSに対応したものを選択)。

XAMPP Apache + MariaDB + PHP + Perl

What is XAMPP?

XAMPP is the most popular PHP development environment

XAMPP is a completely free, easy to install Apache distribution containing MariaDB, PHP, and Perl. The XAMPP open source package has been set up to be incredibly easy to install and to use.



Download

Click here for other versions

 XAMPP for Windows
7.4.8 (PHP 7.4.8)

 XAMPP for Linux
7.4.8 (PHP 7.4.8)

 XAMPP for OS X
7.4.8 (PHP 7.4.8)

Apache Friendsのウェブサイト

ソフトウェアのダウンロードが始まります。ダウンロードが完了したら、「.exe」ファイルをクリックしてインストーラを起動します。

なお、macOSの場合は、「.dmg」ファイルになります。開いたら、XAMPPのアイコンをクリックして、「アプリケーション」フォルダにドラッグします。

インストールしたいコンポーネントの選択

インストーラを実行すると、インストールするコンポーネントの選択を求められます。選択すべき最も重要なものは、Apache、MySQL、PHP、phpMyAdminです。



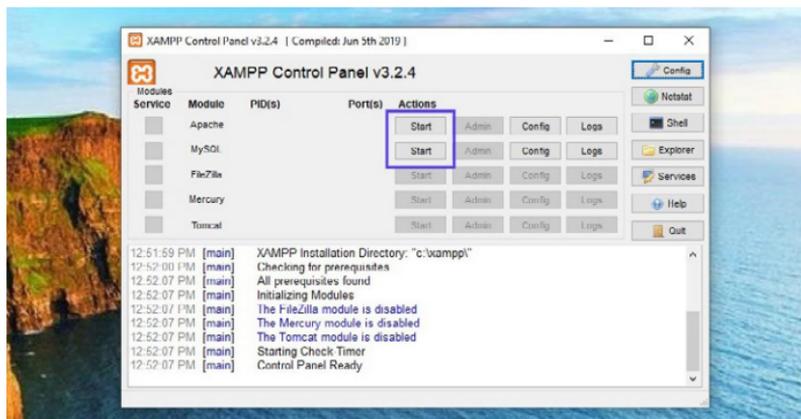
XAMPPのセットアップ画面

他のコンポーネントは必要ないので、チェックを外しても構いません。完了したら「Next」ボタンをクリックして、XAMPPをインストールするフォルダを選択します。

もう一度「Next」ボタンをクリックし、Bitnamiのプロンプトを無視して、もう一度「Next」を選択してください。

XAMPPコントロールパネルを起動してサーバーをテストする

最後の画面では、XAMPP Control Panelの起動を選択します。XAMPP Control Panelが開いたら、ApacheとMySQLの横にある「Start」ボタンをクリックしてください。



XAMPP Control Panel

A起動すると、それぞれのステータスがグリーンに変わります。いよいよサーバーをテストしてみます。ウェブブラウザに「<http://localhost/>」を入力すると、テストできます。

これが成功すれば、あなたのコンピュータにXAMPPが追加されたこととなります。

WordPressのダウンロードとデータベースの作成

次のステップは、お使いのコンピュータにWordPressをインストールすることです。WordPress.orgにアクセスして、「Get WordPress」をクリックします。

パッケージのダウンロードが完了したら、ファイルを解凍して、フォルダをコピーします。次に、コンピュータ上のXAMPPフォルダに移動し、「htdocs」フォルダを見つけて開きます。

次に、「htdocs」フォルダの中に新しいフォルダを作ります。「mytestsite」のような名前にしてください。そのフォルダの中に、WordPressのファイルを貼り付けます。

次に、データベースを作成します。

XAMPP Control Panelに戻り、「MySQL」の隣にある「Admin」を押します。これでphpMyAdminが起動します。

「Databases」をクリックし、データベースの名前を決めて「Create」を押します(より詳しい説明が必要な場合は、前のセクションをご参照ください)。

データベースの名前は自由につけることができます。しかし、「test_db」のように、シンプルで覚えやすい名前にするをお勧めします。

ブラウザでサイトにアクセスしてWordPressをローカルにインストールする

続いて、ブラウザで「http://localhost/mytestsite」にアクセスします。「mytestsite」の部分は、実際のWordPressのフォルダ名に置き換えてください。

言語を選択し、サイトの名前、データベースの詳細情報を入力します。これで、自分のWordPressサイトにログインして、ローカル環境を使い始めることができます。

さいごに

Wi-Fiが限られた場所での仕事でも、ファイルを素早く編集・操作したい場合でも、ローカル環境にWordPressをインストールすることで作業が捗ります。

ローカル環境での作業には、[DevKinsta](#)を強くお勧めします。MyKinstaとシームレスに統合されており、完全に無料で、10カ国語にてご利用いただけます。

DevKinstaをダウンロード



クライアントサイトのために、超高速、安全で、開発者思いのサーバーをお求めですか?KinstaはWordPressの開発者を念頭に置き作られており、豊富な機能と使いやすいコントロールパネルを搭載しています。機能の一部をご紹介します。

- Nginx
- PHP 8.0, 7.4, 7.3(PHPベンチマークをご覧ください)
- ワンクリックステージング環境
- MariaDB
- フルページキャッシュ
- SSH接続
- オブジェクトキャッシュ(+Redisアドオン)
- SSL+SPDYサポート
- Qualys SSL Labsによる試験でA+獲得
- 無料サイト移行とハッキング対処
- 無料のアプリケーションパフォーマンス監視(APM)ツール

- [手動バックアップ](#)
- [Composerサポート](#)
- [無料プレミアムDNS\(Route 53\)](#)
- [DevKinsta\(ローカル環境開発スイート\)](#)
- [HTTP/3サポート](#)
- [最新版ソフトウェア](#)

詳細については、[高度な機能](#)をご覧ください。

[プラン一覧はこちら](#)



The background is a gradient of teal and dark blue, with several semi-transparent, overlapping rectangular shapes in various shades of teal and dark blue scattered across the page. The shapes are mostly oriented horizontally or vertically, creating a modern, geometric aesthetic.

KINSTA

